

平成29年11月21日

No. 17-308

株式会社 伊予銀行

坂出支店で「森のあるまちづくり」の植樹をします！

～地域の保育園児のみなさんといっしょに約300本を植樹～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「『森のあるまちづくり』をすすめる会」の参加企業として、平成29年12月1日（金）に坂出支店（12月4日オープン予定）で植樹しますので、下記のとおりお知らせします。

当日は約40名の保育園児のみなさんをご招待し、シャリンバイなど約300本を植樹します。今回の植樹により、「『森のあるまちづくり』をすすめる会」の累計植樹本数は約47,500本となります。今後も地域を緑豊かにするため、「森のあるまちづくり」に積極的に取り組んでまいります。

記

「森のあるまちづくり」植樹

項目	内容
開催日	平成29年12月1日（金） 荒天の場合は中止いたします。
開催時間	午前11時～11時30分
開催場所	当行 坂出支店（香川県坂出市寿町3丁目1番地41号）
参加者	地域の保育園児のみなさん約40名
植樹本数	約300本

「森のあるまちづくり」をすすめる会

当行が中心となって平成22年8月に発足した会で、平成29年11月時点で67企業・団体が加入しています。まちなかの社有地等で、「宮脇方式」による植樹を行い、地域を緑豊かにする活動を展開しています。

< 「宮脇方式」の植樹とは >

横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏が提唱する植樹方式で、土地本来の植生を中心に多くの樹種を密植し、植物間の生存競争を促して「本物の森」を育てるものです。通常の植樹方式より成長速度が速く、丈夫に成長し、災害にも強いとされています。

以上